

第3次総合計画 基本理念検討経過

基本理念（案）	審議会意見
<p>【案1】 みんなで築く 人にまちに未来にやさしいまち 西東京</p> <p>（アレンジ案） ■人にまちに未来にやさしいまち 西東京をみんなで紡ぐ</p> <p>■人にまちに未来にやさしいまち 西東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・案1は子どもから高齢者まで幅広い層にとって印象的だと感じた。 ・案1～3は、何を指そうとしているのかがわかりやすい。 ・案1は「まち」が2つ入ってかぶっているがこれで良いのか。 ・第2次総合計画を継承して「やさしさ」という言葉が入っているのか。第2次総合計画では達成できていなかったのかと思える。次のステップに進むのなら「やさしさ」を抜いてはどうか。 ・案1と案3は両方「やさしさ」が含まれるが、案3は、既にある「やさしさ」と「いこい」を未来へ繋げていこうという意味で、案1はこれからやさしいまちを築いていこうという意味であるという違いがある。 ・西東京市にはやさしさがあると既に思っている人が多いのではないかと。住んでいる自治体にやさしさを感じていない住民からは、自分の住むまちが「やさしいまち」という意見はあまり上がってこない。「やさしいまち」を「築く」より「つなぐ」が良いのではないかと。
<p>【案2】 一人ひとりがつながりいきる 深呼吸ができるまち 西東京</p> <p>（アレンジ案） ■深呼吸ができるまち西東京で 一人ひとりがつながりいきる</p> <p>■深呼吸ができるまち 西東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「深呼吸」は「居心地」「落ち着き」に通じる。 ・案1～3は、何を指そうとしているのかがわかりやすい。 ・「深呼吸したくなるまち 西東京市」とすると、市民の「自分がしたい」という気持ちをわき起こすものになる。
<p>【案3】 ともにみらいにつなぐ やさしさといこいのまち 西東京</p> <p>（アレンジ案） ■やさしさといこいのまち西東京 をみらいにつなぐ</p> <p>■やさしさといこいのまち 西東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市政を全く知らない人にも理解してもらうことが重要なので、馴染みのある言葉を使用している案3がしっくりくる。 ・案3の「いこい」は「いこいの森」「いこいな」に通じる。 ・案3は一つ一つの言葉に意味があり、ひらがなで分かりやすい。老若男女に響くメッセージだと感じた。 ・「ともに」という言葉は「協働」、「みんなで一緒に」という意味が込められていて好き。 ・第2次総合計画を継承して「やさしさ」という言葉が入っているのか。第2次総合計画では達成できていなかったのかと思える。次のステップに進むのなら「やさしさ」を抜いてはどうか。 ・他の委員の意見を聞く中で案3が良いと感じたが、このフレーズだけで伝わるかは疑問であり、もったいないと感じる。 ・案3をそのまま採用すると、もうすでにある「やさしいまち」をそのままつなぐだけで、新しいものが生まれないように感じる。 ・案1～3は、何を指そうとしているのかがわかりやすい。 ・案3は読点を入れて「ともに、未来に、つないで、やさしさと、いこいを、目指す西東京市」としてはどうか。
<p>【案4】 誰にとっても「ちょうどいい」 みんなでつくるまち 西東京</p> <p>（アレンジ案） ■誰にとっても「ちょうどいい」 まち西東京をみんなでつくる</p> <p>■「ちょうどいい」まち 西東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうどいい」はこのままでいい、とも読み取れて、希望と期待を込められないようにも感じる。 ・「誰にとっても『ちょうどいい』」は解釈が分かれるフレーズである。みんなで考えよう、と問いを投げかけているように感じて、多様性につながっておもしろいと思うが伝わりにくい。 ・「ちょうどいい」に関しては、他自治体も似た言葉を使っているところがあるため二番煎じという印象がある。
<p>【案5】 みんなが描く みらいへとつながる のびしろのあるまち 西東京</p> <p>（アレンジ案） ■のびしろのあるまち西東京を デザインする</p> <p>■のびしろのあるまち 西東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「のびしろ」がしっくりくる。 ・案5は、何をつなげて何を描くのか、10年後を想像できない。また、「のびしろ」はとても良い言葉だが、次の10年でそののびしろを少しでも埋めていくのが総合計画と思う。 ・案5を「のびしろにみんなで描こう未来を 西東京市」とするなど改善してはどうか。

職員WS参加者アンケートの主な意見	市民参加の報告会での主な意見
<p>意見なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市は心の<u>やさしい人が多いよいまち</u> ・<u>やさしい人がいっぱいいるやさしいまち</u> ・みんなに<u>やさしいまち</u>になってほしい ・<u>平和・緑・優しい人が多いまち</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの際にも、西東京市は自然が豊かである、ゆったりとした時間が流れているという意見が出た。都心から少し離れ、市民の方にとって住み心地のよい市であるという意味合いが感じられる。 ・基本理念は分かりやすくキャッチーなものがいいと考えたとき、一番分かりやすい表現だと思った。（「深呼吸」等）市のイメージとして「自然が豊か」がどの世代からも高い評価があることから、人々とのつながりがあり、ほっと一息つけるような安心できるまちになったらいいと思い、その考えに近い基本理念案を選択した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が互いに<u>つながり</u>をもって協力して生活できるまちであってほしい！ ・<u>みどり</u>豊かな安心して暮らせるまち ・<u>みどり</u>を残して、落ち着いた街並みを残してほしい ・<u>緑</u>を残して<u>ほっとできるまち</u>のままでいてほしい ・<u>緑</u>を残してほしい。便利だけでなく、<u>ほっとできるまち</u>がよいと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な世界を築くために、人やモノ、あらゆる視点から繋ぎ、未来を築いていくことを考えると一番適していると感じた。 ・少子高齢化社会において持続可能な自治体運営を行っていくうえで、子どもや若い世代「みらいにつなぐ」というイメージは大切だと思った。また今後は公共私連携がより重要視されていく時代になると考え、「ともに」に込められる様々な主体が、ともに、協働して携えていくという意味にとっても共感を持った。 ・「やさしさ」というこれまでの基本理念を踏まえたうえで計画を策定することで、過去から未来へのつながりを意味することができる考えた。また、他人だけでなく、環境への配慮や持続可能性の意味も含まれていることで、近年の社会潮流であるSDGsに関する問題にも力をいれる姿勢を表すことができる。市民が慣れ親しんでいる「いこい」という言葉が入ることで身近に感じることができ、総合計画と西東京市というつながりが濃く感じられると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>住みやすいまち</u>のままでいてほしい ・現状で<u>住みやすい</u>。このままでいてほしい。 ・子どもが<u>暮らしやすい</u>あたたかい地域に ・みんなが<u>ルール、マナー</u>を守って<u>暮らしやすいまち</u>になってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・都心に近いこと、緑が多いことが市の強みだと思うので、誰にとっても暮らしやすいまちを目指していくことが表現され、良いと感じた。 ・私自身が西東京で働いてもっとも感じる場所なので、より安心して、幅広い世代が暮らしやすい街にしていきたいと思った。 ・5案の中で、最も打ち出したいメッセージが具体的であるという点が、みんながイメージしやすく、意識・行動の変化につながりやすいのではないかと思います。ただ、日常の中で使う「ちょうどいい」の言葉のイメージにはプラスだけでなくマイナスの意味が含まれる感じを受けるため、「ほどよい」などの言葉のほうが良いのではないかと考えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ゆったり、のんびり</u>したまちであってほしい ・みんなが<u>思いやり</u>をもって<u>くらす</u>るまち ・家族で<u>安心して暮らせる</u>まち ・今のままで、さらに<u>多様性</u>をもって<u>生きられる</u>まちであってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・フレーズを決めるにあたり考えたのは子どもにとってどれが一番分かりやすいかを考えた。今後の10年間で大人へと成長していく小学生後半の子から中学生世代に分かりやすい理念にすることで西東京市を身近に感じてもらい今後の西東京市の発展と一緒に作り上げていけるようになって感じたから。 ・前向きで将来に希望が持てるフレーズであるため。 	